



2016年5月9日  
APTJ株式会社

## APTJ株式会社 2回目の第三者割当増資を実施 ～必要な開発資金を調達し、SPF 開発を加速～

### 【発表内容】

車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム(広い意味での OS, 以下 SPF)の開発を行う名古屋大学発のベンチャー企業である APTJ 株式会社(所在地:名古屋市千種区, 代表取締役会長:高田広章, 代表取締役社長:高嶋博之, 以下 APTJ)は, 富士ソフト株式会社, キヤノンソフトウェア株式会社, 株式会社サニー技研, 名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー1号投資事業有限責任組合などを引受先とする総額約 8 億 5000 万円の第三者割当増資を実施いたしました。その結果, 資本金と資本準備金の合計が, 約 10 億円になりました。今回の第三者割当増資により, キヤノンソフトウェア株式会社が, APTJ のパートナーソフトウェア企業に加わりました。

また, APTJ は, スズキ株式会社との間で, AUTOSAR 仕様をベースとした車載制御システム向け SPF を共同で研究開発することを内容とする共同研究開発契約を締結しました。同じ共同研究開発契約を締結した自動車部品メーカーおよび自動車メーカーは, 合計 4 社になりました。今後も, 共同研究開発に参加する自動車部品メーカーや自動車メーカーを増やすよう活動を継続し, 今年度内にさらに 1~2 社と共同研究開発契約を締結することを目指しています。

APTJ では, 経営体制強化のために, 4 月 26 日開催の臨時株主総会において, 富士ソフト株式会社執行役員 ASI 事業部長の三木誠一郎氏を社外取締役に選任しました。三木誠一郎氏は, 車載組込みソフトウェア業界に関する豊富な知識と経験を有しており, APTJ の経営全般に対する助言が期待できるものと考えています。

### 【APTJ の概要】

APTJ 株式会社 (APTJ) は, 名古屋大学の研究開発成果を活用して, 車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム (SPF) の開発・販売を目指す大学発ベンチャー企業です。名古屋大学では, 情報科学研究科附属組込みシステム研究センター (NCES, センター長:高田広章) において, 車載制御システム向けの SPF に関する研究開発を産学連携体制で推進してきました。

車載制御システム向けの SPF の分野においては, 欧州を中心に策定されている AUTOSAR 仕様が国際標準として広く活用されつつありますが, AUTOSAR 仕様をベースとした SPF の開発においては海外の有力企業が先行し, シェアを伸ばしています。APTJ は, それに対抗できる国産の SPF を, 名古屋大学の研究開発成果を活用して開発・販売することを目指して, 2015 年 9 月に設立した大学発ベンチャー企業です。APTJ の代表取締役会長兼 CTO には, NCES センター長/教授の高田広章が就任しています。

APTJ が開発する SPF は, 最新の AUTOSAR 仕様をベースとしつつ, 名古屋大学

の研究開発成果や知見を活用した先端的な機能や実装技術により、機能安全規格、サイバーセキュリティ対策、マルチコアプロセッサに効率的に対応できることを技術的な特徴とします。この **SPF** を活用することで、安全で品質の高い車載組込みソフトウェアの開発が効率化され、自動車部品メーカーの競争力向上につながります。

**APTJ** による **SPF** の開発は、パートナーソフトウェア企業からの資金面・人材面の協力を得て、自動車部品メーカーおよび自動車メーカーと共同で行います。また、ツール開発やサポート体制構築についても、パートナーソフトウェア企業各社と密接に連携して計画を進めています。開発技術者は、2016年4月時点で30名を超えましたが、今後さらなる増員を予定しています。**SPF** の開発には2~3年の期間を見込んでいますが、開発完了した部分から順次、国内のみならず海外の自動車部品メーカーなどにも広くライセンス販売していく計画です。そのライセンス収入等により、5年後には年間10億円の売り上げを目指します。

さらに将来的には、自動運転システム向けの **SPF** 仕様として **AUTOSAR** が策定中の **AUTOSAR Adaptive Platform** 仕様に基づいた **SPF** の開発や、セキュリティ対策の強化により **IoT** や **Connected Vehicle** の流れにも対応するなど、車載制御システム向け **SPF** の分野において、国際的なトップクラス企業に成長させていく計画です。

**APTJ** は、これらの活動を通じて、我が国の車載組込みソフトウェア産業を強化し、さらには自動車産業全体の競争力向上に貢献することを目指しています。

#### 【お問い合わせ先】

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

**APTJ** 株式会社  
〒464-0814 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学 インキュベーション施設  
TEL: 052-782-5705 FAX: 052-782-5706  
Email: [contact@aptj.co.jp](mailto:contact@aptj.co.jp)

#### 【用語説明】

|                |   |
|----------------|---|
| <b>SPF</b>     | ソフトウェアプラットフォーム( <b>Software PlatForm</b> )。計算機システムの中でアプリケーションソフトウェアを実行するための基盤となるソフトウェア。広い意味での <b>OS</b> のこと。  |
| <b>AUTOSAR</b> | <b>AUTomotive Open System ARchitecture</b> 。車載制御システム向けのソフトウェア基盤のグローバルな業界標準を作成する団体。2003年に設立され、欧州を中心に活動。 <b>AUTOSAR</b> 仕様に基づいた <b>SPF</b> は、すでに欧州の自動車メーカーには広く採用されており、今後、国内の自動車メーカーにおいても採用が広がるものと予想されている。 |
| <b>NCES</b>    | 名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター( <b>Nagoya university Center for Embedded computing Systems</b> )。産学官連携により、組込みシステム技術に関する研  |

|        |   |
|--------|---|
|        | 究開発と人材育成を推進するために 2006 年 4 月に設立。センター長は高田広章。  |
| 機能安全規格 | 安全性に関わる電子システムを開発する時に行うべき事項を規定した規格。車載電子システム向けの機能安全規格として、ISO 26262 が 2011 年 11 月に発行されており、自動車業界はこの規格への対応を迫られている。 |